

事業所における自己評価結果（公表） 児童発達支援

公表：令和 7年 2月 1日

事業所名 こどもいろおんが

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		利用者の人数や年齢に応じた場所の提供を考えてゲートなどを使い視覚的に環境を区切ったり拡げたりしています。	
	②	職員の配置数は適切である	4		利用者の人数に応じた職員配置をおこなっています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		①と同様で利用者の特性に応じ、視覚的な提示などをおこなっております。	トイレや洗面所などの使い方などを視覚的に提示してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		①と同様です。利用者が静と動の切り替えができる工夫や学習と自由時間の切り替えができるように空間づくりをおこなっています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		日々の職員間での振り返りや月一度以上職員の面談もおこない考えや気持ちの共有をおこなっています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			本事業所や初めてですが、他こどもいる事業所同様公開させていただきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			本事業所や初めてですが、他こどもいる事業所同様公開させていただきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			引き続き業務改善をおこなえるよう評価をいただけるようにいたします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		日々の活動についてや感染症、虐待、防災訓練をはじめ事業所の定期的な研修でより意識を高めてまいります。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		お子様の成長に沿って3、4か月で定期的に作成いたします。また急な変化に応じれるように日々お子様の様子を確認いたします。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		アセスメントツールをもとに客観的にとらえるようにしております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		それぞれの支援項目に沿って、お子様にとっての最善を考えて設定できるよう作成しております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		計画を職員が共通理解できるよう話し合いの場を設けております。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		活動プログラムの担当者が活動する前に他の職員と共有して活動の目的や目標を考えついております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		職員がローテーションで作成することで固定化を防ぎより良いものになるよう全体の職員で共有しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		毎日のプログラムの中に個別活動と集団活動を取り入れられるよう作成しております。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎日おこなっております。	

	⑱	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		毎日おこなっております。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		保護者様に向けた連絡帳やケア記録などを毎日つけ、次回につながるよう全職員が目を通しております。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4			保護者さまとのモニタリングの回数を増やしてまいります。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		させていただきます。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4			連携の輪を広げられるよう取り組んでまいります。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4			より連携できるよう取り組んでまいります。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		整えています。引き続き連絡できるよう常日頃から連携をおこなってまいります。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		利用者の情報やご様子などを見学させていただく場を設けられるよう取り組んでおります。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			より連携できるよう取り組んでまいります。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			引き続き研修など参加させていただき高められるようにいたします。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4			コロナ感染などの防止のためおこなっておりません。適宜おこなってまいります。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4			自立支援会議への参加を引き続き積極的におこなってまいります。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		お子様のご様子や保護者様からのご要望に耳を傾けられるように引き続き取り組みます。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		お子様のご様子やうかがった際に事業所内での活動の方法や声掛けなども共有しご家庭のお役に立てるようお伝えしております。	別室のモニタールームなどでお子様と職員の様子を見ていただく場を定期的に設定してまいります。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		保護者様の不安が少しでもなくなるようお伝えしていきます。	保護者様のお気持ちをうかがえるよう意識いたします。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		必ず保護者様からの同意をいただいております。	
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			定期的な助言と支援ができるよう保護者様と連絡を密にとるよう心がけます。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			コロナ感染などの防止のためおこなっておりません。保護者様同士の連携ができる工夫を事業所全体で考えてまいります。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			迅速に対応できるよう取り組んでいますが、話しやすい事業所であるよう、常日頃から保護者様との連絡を取ってまいります。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		こどもいるだよりやリタリコブログにて発信しております。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4		取扱いに気を付けお顔や名前、住所などの漏洩がないよういつもの確認のもとおこなっております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		利用者のご様子や成長に沿った対応を考えております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4			コロナ感染などの防止のためおこなっておりません。適宜に取り入れてまいります。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			職員間ではおこなっておりますが、保護者様と連絡網などを駆使した実践訓練などおこなってまいります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			引き続き利用者、職員が適切な動きができるよう取り組んでまいります。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		契約時にいただいたアセスメントシートを全職員把握できるようにしております。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		おやつでの提示で全職員がわかるように掲示する工夫をおこなっております	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		本事業所や各事業所のヒヤリハットの事例を全体会議で共有することで次に生かすようにしております。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		毎日の振り返りをおこない職員間で伝えあえる場を設けています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		身体拘束への理解ができるよう研修をおこない共通認識を持ち取り組んでおります。また保護者様への説明と了解も契約時に必ずおこなっております。	

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。